

令和4年度 第1学年 音楽科 年間指導計画・評価計画（年間45時間）

|    |   |
|----|---|
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造などとの関わり、音楽の多様性について理解する。</li> <li>・音楽表現するのに必要な、歌唱、器楽創作の技能を身につける。</li> <li>・音楽表現を創意工夫することや、自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</li> <li>・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かにしていく態度を養う。</li> </ul> |
|----|---|

評価の観点:①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度

| 月     | 時間 | 題材名  | 単元のねらい<br>主な学習内容   | 評価の規準(評価方法)  |
|-------|----|--|--|--|
| 4     | 3  | 思いを込めて合唱しよう<br>「校歌」<br>「We'll Find The Way」「その先へ」                  | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして歌う。  | ③ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。(授業観察)   |
|       | 3  | 曲の構成を感じ取って歌唱表現を工夫しよう<br>「主人は冷たい土の中に」<br>「Edelweiss」                | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして歌う。  | ② 旋律・形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。(ワークシート・定期考査)   |
| 5     | 3  | 曲想を感じ取って器楽表現をしよう<br>「アルトリコーダー」                                     | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、演奏する。   | ① 全体の響きや各声部の音などを聞きながら合わせて演奏する技能を身につけている(実技テスト・定期考査)  |
|       | 2  | 音楽の特徴に注目しながら情景を思い浮かべよう「春」  | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考え、音楽のよさ、美しさを味わう。                             | ② 音色・旋律・形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えとともに曲の美しさを味わって聴いている。(ワークシート・定期考査)   |
| 6     | 2  | イメージと音楽との関わりを感じ取る<br>「ジョーズのテーマ」「指揮をしてみよう」                          | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考え、音楽のよさ、美しさを味わう。                             | ② 音色・旋律・形式・構成・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えとともに曲の美しさを味わって聞いている。(ワークシート・授業観察)  |
|       | 4  | 曲想やパートの役割を感じ取って歌唱表現を創意工夫して歌おう<br>「朝の風に」「君をのせて」                     | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして歌う。  | ① 全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技術を身につけ、歌唱で表している。(定期考査)  |
| 7~9   | 2  | 日本の歌のよさや、美しさを<br>感じ取って歌唱表現を工夫しよう。<br>「浜辺の歌」                        | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。  | ② リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか意図を持っている。(ワークシート・定期考査)  |
|       | 7  | 曲の構成や曲想の変化を生かして歌唱表現を工夫しよう<br>「合唱コンクールの合唱曲」                         | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。  | ① 創意工夫をいかした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などを身につけて歌唱で表現している。(実技テスト)<br>② リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか思いや意図を持っている。(ワークシート・授業観察・定期考査)<br>③ 音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。(授業観察) |
| 10~12 | 2  | 曲想と音楽の構造との関わりを理解してその魅力を味わおう「魔王」                                    | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考え、音楽のよさ、美しさを味わう。                             | ② 音色・旋律・形式・構成・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えとともに曲の美しさを味わって聴いている。(ワークシート・授業観察・定期考査)   |
|       | 2  | 日本の歌のよさや、美しさを<br>感じ取って歌唱表現を工夫しよう「赤とんぼ」                             | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。  | ② リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか意図を持っている。(ワークシート・定期考査)  |
|       | 5  | 音のつながり方の特徴を生かして創作表現をしよう<br>「リズムゲーム」「リズムアンサンブル」「リズムチャレンジ」「MyMelody」 | 音のつながり方の特徴について理解し、それを生かした創作表現をする。  | ① 音のつながり方の特徴について理解している。(ワークシート)<br>① 簡単なリズムの読譜、記譜、創作ができる。(ワークシート)  |
| 1     | 5  | 箏曲の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう「さくらさくら」「六段の調べ」                                | 楽器の音色や響き奏法の関わりを理解し、それを生かした器楽表現を行う。   | ① 基本的な箏の奏法を身につけて演奏することができる。(実技テスト)<br>② 音色・旋律・速度・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えとともに曲の美しさを味わって聴いている。(ワークシート・授業観察・定期考査)  |
| 2     | 2  | 日本に古くから伝わる合奏に親しみその魅力を味わおう<br>「平調越天楽」                               | 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解するとともに、曲に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考えて音楽のよさ | ① 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解している。(定期考査)<br>② 音色・旋律・速度・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えとともに曲の美しさを味わって聴いている。(ワークシート・授業観  |

|   |   |   |  |  |
|---|---|---|--|--|
|   |   |   | や美しさを味わって聴く。   | 察)<br>③ 曲想と音楽の関わり、特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、取り組んでいる。(授業観察)       |
| 3 | 3 | 日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう<br>鑑賞「日本の民謡」「アジアの諸民族の音楽」歌唱「ソーラン節」★ | 人々の暮らしの中から生まれた日本の民謡を聴き、声や音楽の特徴を生かして歌う。<br>アジアの音楽を聴き、音楽表現の共通性や、固有性について自分なりに考え、音楽のよさ、美しさを味わって聴く。 | ① 曲想と音楽の関わり、特徴とその背景となる文化や歴史、我が国の伝統音楽、アジアの諸民族の音楽の特徴と多様性に関心を持ち、音楽活動に取り組んでいる。(ワークシート) |

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

### 評価計画(各観点の評価方法)

| 観点                    | ① 知識・技能  | ② 思考・判断・表現  | ③ 主体的に学習に取り組む態度  |
|-----------------------|--|---|--|
| 観<br>点<br>の<br>趣<br>旨 | ・曲想と音楽を形作っている要素についての関わりを理解している。<br>・歌唱・器楽・創作表現をするために必要な技能を身につけている。 | ・音楽を形作っている要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ、知覚したこととの関わりについて考え、どの様に表現するか思いや意図を持っている。また、曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 | ・曲想と音楽を形作る要素との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 |
| 評<br>価<br>の<br>方<br>法 | ・実技テスト<br>・ワークシート<br>・定期考査   | ・ワークシート<br>・実技テスト<br>・定期考査  | ・授業観察<br>・提出物<br>・定期考査                                 |

### 学習のアドバイス

|               |   |
|---------------|---|
| (1)授業態度       | いつでも積極的に取り組みましょう。忘れ物がないようにしましょう。                        |
| (2)提出物        | 指定された期限に必ず出しましょう。                                       |
| (3)単元ごとのふりかえり | 定期テストの前には必ず復習をしましょう。音楽の表現に関する言葉、記号、その意味についてはしっかり覚えましょう。 |